

- 地球温暖化への基本的な知識と関心を醸成し、家庭でも地球温暖化対策に取り組んでもらうため、長岡市内小学校4～6年生及びその保護者を対象に希望校を募集し、令和6年度は9校（計12回分617名）で講座実施しました。地球温暖化のメカニズムや対策等を学んだり、食品ロスについて学ぶ座学のほか、間伐材を活用した「マイ箸づくり」や、日常生活でのエネルギーの無駄遣いについて考え直す体験講座「家庭内のエコを探そう」をあわせて行いました。講師は、新潟県地球温暖化防止活動推進員等の経験がある平澤聡氏、三井田由香氏、三留綾子氏、中野雅夫氏に担当していただきました。子どもたちは地球温暖化防止について楽しみながら意欲的に学び、「少しの取り組みで未来が変わるんだ」「今日帰ったらやってみよう」といった声が聞こえましたイベントの出入口で水素自動車の展示を行いました。

**講座の様子**

地球温暖化について学び、家庭でもできる取り組みについて考えました

**親子でマイ箸作りに挑戦**

間伐材をやすりで削り、オリジナルの箸を作りました。

- 「間伐材で“マイ箸”をつくろう！」ブースを出展し、多くの方に箸づくりを体験するとともに間伐が地球温暖化防止につながることを学んでいただきました。また、長岡農業高校の生徒さんが育ててくれたゴーヤの苗を配布しました。

5月25日（土）、26日（日）の両日で200名の方から当ブースに参加いただきました。



ブース出展の様子

ゴーヤ苗、ゼロチャレ30や間伐材チランを配布しました。箸づくり体験では親子で楽しみながら間伐について学びました。

SDGs 環境啓発・教育事業

(長岡市 令和6年度)

- 長岡市内で活動している市民活動団体やNPO法人と連携協力し、市内小学校に通う児童とその保護者を対象に、当市の豊かな自然を感じながらSDGsを学んでもらう体験型環境啓発イベントを実施しました(全3回計44名)。本事業は、参加者の体験活動や地域団体との交流を通じてSDGsを自分ごとと捉え、日常生活において意識や行動を変えてもらうことを目的としています。

また、市内小学校4～6年生を対象に、環境保全やSDGsに対する意識を醸成するためのSDGs教育講座を実施しました(全8校計318名)。すごろくゲームを通してわかりやすくSDGsについて学び、自分の興味のある分野・これから取り組みたい目標について発表し合いました。



環境啓発イベントの様子

1つの場所からたくさんの生き物を発見し、どの自然・生き物も相互に影響を及ぼし、共存していることを学びました。



教育講座の様子

クイズやすごろくゲームを交えながら楽しくSDGsについて学習しました。

トキ分散飼育センターバックヤードツアー

(長岡市 令和6年度)

- トキの生態や、繁殖の取り組みについて学んだ後、普段は立ち入ることのできないバックヤードで、トキのエサづくり体験や飼育道具の見学を行いました。参加者からは、「自然やトキのことを考えるきっかけになった」との声や、「トキは馬肉を食べるんだ」との驚きの声がありました。

8月10日(土)、10月6日(日)の2回で計12名の方に参加していただきました。



ツアー中の様子

トキの生態について学び、共存するにはどうしたらいいのか考えました。



トキのエサづくり体験の様子

馬肉やニンジンを使ったエサをこねたり、ミンチ状にしたものを計量したりする体験を行いました。

EVバスラッピング事業

(長岡市 令和6年度)

- 長岡市、越後交通株式会社、長岡造形大学が連携し、環境啓発を目的としたデザインをEVバスの車外後方にラッピングするとともに、車内ポスターとして掲載しています。デザインは長岡造形大学デザイン学科 池田享史研究室の学生に作成していただきました。

ぜひこの機会にEVバスに乗車し、インパクトのあるデザインをご覧ください。

ラッピング・ポスター掲載期間：令和6年10月30日(水)～令和7年9月30日(火)

運行ルート：中央環状線(くるりん)内回りを中心に運行中。時刻表等は下記からご覧ください。

<http://www.echigo-kotsu.co.jp/contents/diagram/route/nagaoka/west.html>



ラッピングバスの様子

バス車外後方にインパクトのあるデザインをラッピングしました。



バス車内の様子

車内には、環境問題をテーマにした数多くのポスターが掲示されており、乗客の目を惹くデザインとなっています。